

## デザイン補助機能について

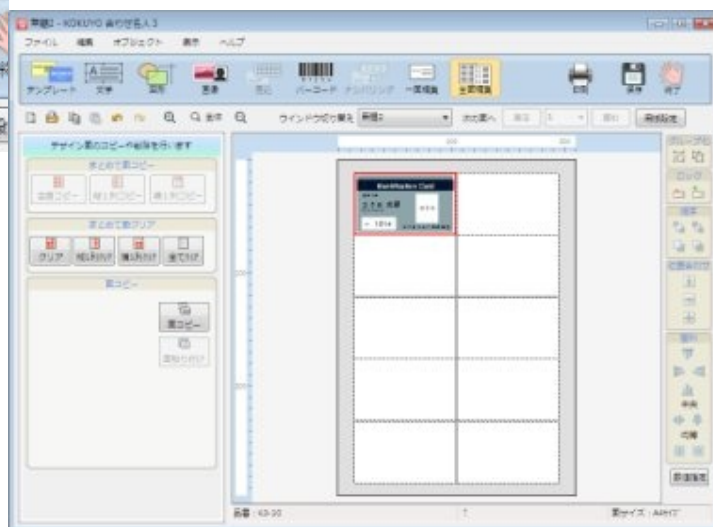
デザイン補助機能はラベル・カードデザインをする際、簡便に作成面のコピー/貼り付けを行ったり、オブジェクトの配置を正確かつ簡易に行うための補助線などが設定できる機能です。

## 全面編集画面の機能について

面のデザインや編集などは「一面編集」ですべて行いますが、作成した面を他の面にコピーしたり、シート上(ラベル用紙全体)の作成された面を削除するために「全面編集」画面が用意されています。「一面編集」画面については、オブジェクトの作成を始め前項までの説明となりますので、ここでは「全面編集」画面について説明します。



ツールバーの〔全面編集〕ボタンをクリックします。クリックすると画面表示が以下のように変わります。



作成した面が左上に表示され、「赤い枠」で囲まれています。



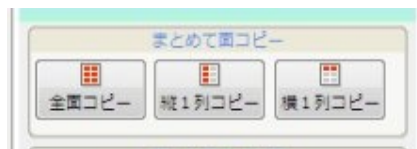
まずは面のコピーをします。画面左中段の〔面コピー〕ボタンを押します。左のプレビューエリアにコピーされた面が表示されます。

次に貼り付けを行いましょ。コピーした面を他の白紙面に貼り付けるには、まず貼り付けたい面をクリックして選択します。選択すると「赤い枠」が選択した面に移動しますので下図の〔面貼り付け〕ボタンを押します。



選択した面にコピーした面が貼りつきました。

今度はまとめて全面または列単位でコピー貼り付けてみましょう。「まとめて面コピー」エリアから行います。



〔全面コピー〕ボタンは、シート上の全面にコピーします。〔縦1列コピー〕〔横1列コピー〕ボタンは「赤い枠」が置かれている縦列・横列のそれぞれにコピーします。

次に「面の削除」についても説明しておきましょう。



「赤い枠」が置かれている状態で〔クリア〕ボタンを押すと、その面だけが削除されます。

## ガイドバーとグリッド機能について

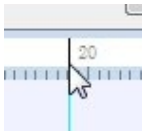
レイアウトをするときに、離れたオブジェクトの頭を見ただ目で揃えるのは大変です。こんなとき用紙上に補助線(ガイドバー)を引いておくと、手際よくきれいにレイアウトができます。

ガイドバーは画面上「赤い線」で表示されますが、印刷には反映されません。また、マウสดラッグで用紙の適当な位置へ移動ができますが、より正確に位置設定ができるよう数値による設定も可能です。

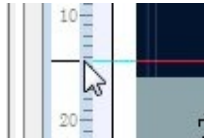
ガイドバーは以下の手順で作成することができます。

### デザイン画面のルーラー(ものさし)から直接補助線を設定する

垂直ガイドバー



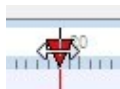
水平ガイドバー



ガイドバーは画面上のルーラー(ものさし)部分をクリックすることで表示されます。

垂線ガイドバーを表示したい場合には、「上部の横ルーラー」、水平ガイドバーを表示したい場合には、「左の縦ルーラー」の表示したい場所をクリックしてください。

「赤い線」の上にマウスをあわせるとカーソルの形状が変わります。



マウスの右ボタンをクリックすると設定画面が表示されます。



表示されたガイドバーの位置を移動するには、ルーラー上の「赤い線」をマウスの左ボタンでつまんでドラッグすることにより可能ですが、正確な位置を設定するときには、「赤い線」をダブルクリックするか、その上でマウスの右ボタンを押すと、「ガイドバー設定」画面が表示されますので、ガイドバーを引きたい位置を数値入力してください。

### 一度に複数のガイドバーを設定する

【ガイドバー設定】ボタンをクリックします。

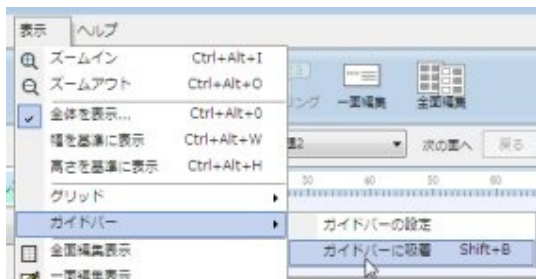


「ガイドバー設定」画面が表示されますので、横ガイドを作成したい場合には「横ガイド」タブを、縦ガイドを作成したい場合には「縦ガイド」タブをクリックし、[追加] ボタンをクリックすると入力枠が表示されますので、ガイドバー位置を入力します。この作業を繰り返し、複数のガイドバーを一括して設定しましょう。



入力設定したガイドバーの値を変更するときには、枠内から変更したい値をクリックすると、入力エリアとして表示されますので、値を変更します。

### 作成したガイドバーにオブジェクトを吸着させる



ガイドバーを設定して、メニューの <表示> - <ガイドバー> - <ガイドバーに吸着> を選択すると、作成したガイドバーにオブジェクトの端が近づくとき、オブジェクトが吸い付くような設定をすることができます。この設定をしておくことで細かなマウス操作をすることなく、設定したガイドバー位置にオブジェクトをあわせて配置することが可能です。

### 作成したガイドバーの削除



作成したガイドバーを削除するには、削除したいガイドバーのルーラー(ものさし)上に表示された「赤い」をマウスでつまみ、用紙の外(ものさしのなくなる部分)までドラッグすることで削除されます。また、「赤い」をマウスの右ボタンクリックすると表示されるウィンドウからも削除することができます。複数のガイドバーを一括して削除するときには、上記「操作手順」により表示される「ガイドバー設定」画面で[すべてを削除] ボタンより削除することが可能です。

### グリッドを設定して用紙上方眼を表示させる

グリッドは用紙上方眼を表示させる機能です。方眼をつけることにより、レイアウト時のオブジェクト

配置がより正確に楽になります。

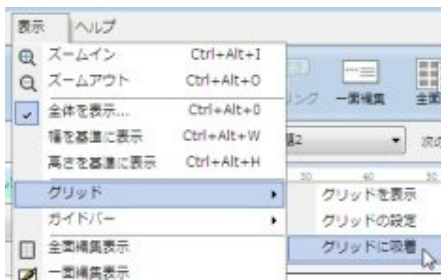


メニューの<表示>-<グリッド>-<グリッドの設定>をクリックして、「グリッドの設定」画面を表示します。



「グリッドの設定」画面では「表示／非表示」、「吸着する／しない」のそれぞれが設定できます。グリッドスタイルを選択し、間隔(方眼の大きさ)を設定して[OK]ボタンをクリックしてください。

#### 設定したグリッドにオブジェクトを吸着させる



グリッドの設定時または設定後、メニューの<表示><グリッド><グリッドに吸着>を選択すると、設定したグリッドにオブジェクトの端が近づくと、オブジェクトが吸い付くような設定をすることができます。この設定をしておくとなかなかの細かいマウス操作をすることなく、設定したグリッド位置にオブジェクトをあわせて配置することが可能です。

#### 設定したグリッドを非表示にする

グリッドは削除することはできませんが、前項の「グリッドの設定」画面で非表示に設定することができます。しかし、「グリッドに吸着」が「ON」になっていると、画面上では表示されていなくても、オブジェクト移動時に設定されたグリッドに吸着してしまいます。